

2026年4月6日

東急不動産株式会社
東急リゾート&ステイ株式会社
株式会社 Kaizen Platform
株式会社 POCKET RD

**NFT を活用した「東急ステイ公式宿泊権リセールサービス」が
「Japan Tourism NFT Awards 2025」オープンカテゴリー部門
グランプリ受賞**

－不動産・DX・ブロックチェーン各領域のプロフェッショナル4社が連携し
宿泊予約のキャンセル問題などホテル業界の構造課題を解決する新たな宿泊流通モデルが評価－



東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田中 辰明、以下「東急不動産」）、東急リゾート&ステイ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：山脇 賢一、以下「東急リゾート&ステイ」）、株式会社 Kaizen Platform（本社：東京都港区、代表取締役：須藤 憲司、以下「Kaizen Platform」）、株式会社 POCKET RD（本社：東京都港区、代表取締役：梶 倉 宏哉、以下「POCKET RD」）の4社は、NFTを活用した宿泊権利プラットフォーム「東急ステイ公式宿泊権リセールサービス(以下「本サービス」)」が、一般社団法人日本 Web3 ツーリズム協会が主催する「Japan Tourism NFT Awards 2025」オープンカテゴリー部門においてグランプリを受賞したことをお知らせします。

本サービスは、東急不動産および東急リゾート&ステイが企画・運営する宿泊予約を NFT（※）として発行し、利用できなくなった場合に二次流通で売買できる仕組みを提供するものです。サービスの UX 設計・DX 推進を Kaizen Platform が、NFT 発行・ブロックチェーン基盤の開発を POCKET RD がそれぞれ担い、4 社の連携により実現しました。宿泊施設のキャンセル問題や需給ミスマッチといった業界課題の解決につながる新たな宿泊流通モデルとして、総合的に評価されました。



授賞式写真

左から順に：東急不動産株式会社 太田千香子
株式会社 POCKET RD 代表取締役 COO 西川 由衣
東急リゾート&ステイ株式会社 富田 平
株式会社 Kaizen Platform 大串 昭光・渡辺 育海

■ 「Japan Tourism NFT Awards 2025」の概要：観光産業における NFT・Web3 活用事例を表彰

「Japan Tourism NFT Awards」は、観光・ツーリズム分野における NFT および Web3 技術の活用事例を発掘・表彰するアワードです。今回で第 3 回を迎え、観光課題の解決、地域経済への貢献、新しい旅行体験の創出などを評価軸とし、観光産業における Web3 技術の社会実装を促進することを目的としています。

今回受賞した本サービスは、宿泊予約を NFT として発行し、利用者が行けなくなった場合に二次流通で売却できる仕組みを提供することで、宿泊施設と利用者双方の課題を解決するモデルとして評価されました。NFT を活用した革新的な宿泊流通モデルである点に加え、不動産・DX・ブロックチェーンという異なる専門領域を持つ 4 社が連携し、ユーザーが Web3 技術を意識することなく直感的に利用できるサービスとして社会実装を実現した点、さらに観光・宿泊産業における Web3 活用の実装モデルとして今後の展開可能性を示している点が総合的に評価されました。

■サービス開発の背景：高いキャンセル率と需給ミスマッチというホテル業界の構造課題解決へ

ホテル業界では、宿泊予約のキャンセル率が高く、需要予測や在庫管理が難しいという課題があります。一般的に宿泊予約のキャンセル率は 40~50%程度に達する場合もあり、ホテルは実際の需要の約 2 倍の予約を受ける必要があるなど、非効率な市場構造が存在しています。

宿泊施設側は、直前キャンセルによる空室発生リスク、通常プランでは宿泊日まで代金を受領できないことによるキャッシュインの遅れ、通常プラン以外でも「キャンセル不可プラン」など複数の宿泊プラン提供による収支管理の複雑化といった課題を抱えています。一方で利用者側でも、急な予定変更で宿泊できなくなった場合、キャンセル不可プランでは宿泊費用が返金されないといった課題があり、宿泊予約の柔軟性向上が求められています。

こうした課題を背景に、東急不動産・東急リゾート & ステイ・Kaizen Platform・POCKET RD の 4 社が連携し、本サービスを開発しました。

■4 社の役割と連携体制

本サービスは、各社の強みを活かした 4 社連携体制により実現しています。

東急不動産株式会社：全体の事業企画・統括。観光・リゾート・不動産事業における NFT・Web3 技術活用の推進。

東急リゾート & ステイ株式会社：ホテル「東急ステイ」の運営およびサービスの導入・オペレーション。会員プログラム「SMART CLUB」を通じた顧客基盤の活用。

株式会社 Kaizen Platform：サービス全体の UX（ユーザー体験）設計および DX 推進支援。ブロックチェーン技術を意識させないシームレスな利用体験を設計。

株式会社 POCKET RD：Web3 BaaS「Digital Double」を活用した NFT 発行基盤およびブロックチェーンインフラの開発。宿泊権のトークン化、ウォレット管理、二次流通の技術基盤を提供。

この 4 社連携により、本サービスは以下の価値提供を目指します。

【宿泊施設側】

- ・宿泊権の前売り販売によるキャッシュフロー改善
- ・キャンセルによる空室リスクの低減
- ・宿泊在庫の流動化による販売機会の最大化

【利用者側】

- ・急な予定変更でも宿泊権利を売却可能
- ・直前でも宿泊権を購入可能
- ・より柔軟な旅行体験の提供

また、宿泊当日は NFT チケットの QR コードを提示するだけでチェックインが可能であり、ブロックチェーン技術を意識せずに簡単に活用できます。

■今後の展望：まずは東急ステイ 31 施設に展開後、他の宿泊施設との提携も視野に

東急不動産はこれまでも、観光・リゾート・不動産事業において NFT や Web3 技術を活用した新しい体験価値の創出に取り組んできました。NFT は当初、デジタルアートなどの分野で活用されてきましたが、近年ではチケットや会員権など現実資産の権利証明としての利用が拡大しています。

今回受賞した本サービスは現在、東急リゾート & ステイが運営するホテルブランド「東急ステイ」6 施設で導入されています。今後は「東急ステイ」における対象施設を拡大し、全国 31 施設への展開を進めていく予定です。さらに本サービスの仕組みは、宿泊予約の流通構造そのものを変革する可能性を持つモデルであり、将来的にはホテル業界全体への展開も視野に入れていきます。

4 社は今後も、それぞれの専門性を活かした連携を深め、観光産業とデジタル技術を融合させることで、新しい旅行体験の創出と持続可能な観光産業の発展に貢献してまいります。

※NFT (Non-Fungible Token/非代替性トークン) : ブロックチェーン技術を活用し、デジタルデータや利用権などに唯一性や所有証明を付与できるトークンのこと。

■コメント

一般社団法人日本 Web3 ツーリズム協会 岩下 拓氏

本プロジェクトは、NFT を単なるデジタル資産としてではなく、宿泊権利というリアルなサービスの流通に応用した点が非常に革新的でした。宿泊業界のキャンセル問題や需給ミスマッチといった課題を解決する可能性を持つモデルとして、観光産業全体への貢献度が高い取り組みとして評価しました。特に、不動産・DX・ブロックチェーンの各領域を持つ 4 社が連携し、利用者が Web3 技術を意識することなく使えるサービスとして実現した点は、今後の観光分野における Web3 社会実装のモデルケースになると期待しています。

東急不動産株式会社 ウェルネス事業ユニット ホテル・リゾート事業本部

リゾート事業部 リゾート事業グループ 白倉 弘規

このたびは「Japan Tourism NFT Awards 2025」においてグランプリを受賞することができ、大変光栄に思います。本サービスは、宿泊予約のキャンセル問題など宿泊業界が長年抱えてきた課題に対し、NFT 技術を活用して新しい流通モデルを構築することを目指した取り組みです。Kaizen Platform 様の UX 設計力、POCKET RD 様のブロックチェーン技術力と連携したことで、利用者にとって使いやすく、業界課題の解決にも寄与するサービスを実現できました。今後も 4 社の連携

を深め、観光・宿泊・不動産事業とデジタル技術を融合させ、新しい旅行体験の創出と観光産業の発展に貢献してまいります。

株式会社 Kaizen Platform 代表取締役 須藤憲司

このたびの受賞を大変嬉しく思います。Kaizen Platform は「KAIZEN the World～なめらかな働き方で世界をカイゼンする～」というミッションのもと、企業の DX 推進を支援してまいりました。本プロジェクトでは、NFT やブロックチェーンといった先端技術を、利用者が意識することなく自然に使える UX 設計を追求しました。技術の革新性だけでなく、実際に宿泊業界の課題解決に貢献できるサービスとして評価いただけたことは、DX の本質的な価値を示すものだと考えています。今後も東急不動産様、東急リゾート&ステイ様、POCKET RD 様と連携し、テクノロジーの力で観光産業の未来を切り拓いてまいります。

株式会社 POCKET RD 代表取締役 初倉宏哉

このたびの受賞を光栄に思います。POCKET RD が提供する Web3 BaaS「Digital Double」は、企業がブロックチェーン技術を活用したサービスを迅速に構築できる基盤です。本プロジェクトでは、宿泊権の NFT 化からウォレット管理、二次流通の仕組みまでを一貫して技術提供いたしました。Web3 技術が観光・宿泊という身近な領域で社会実装され、実際に業界課題の解決に貢献していることを示せたことは、大きな意義があります。今後も「ニッポン発。今、ここにはない未来を創る」をビジョンに掲げ、パートナーの皆様とともに Web3 技術の社会実装を推進してまいります。

■「東急リゾート&ステイ SMART CLUB」について

「SMART CLUB」にご入会いただくと、首都圏をはじめ全国の東急ステイで、有料備品の無料化や宿泊権リセール*、共通アカウントによる予約の簡素化など、よりスマートで快適な滞在が叶います。さらに、東急スノーリゾートでのリフト券やレンタル・スクールの事前手配、ゴルフ場予約の一元管理も可能になり、スキーやゴルフなどのレジャーもスムーズにお楽しみいただけます。

東急リゾート&ステイ SMART CLUB 公式サイト：<https://www.tokyu-rs.co.jp/smartclub/>

*リセール可能な専用プラン（返金不可）のみが対象となります

*東急スノーリゾート、東急ゴルフリゾートでのご予約は一部施設を除く

*「フルセットレンタルプラン」は対象外

■「東急ステイ」について

東急ステイは「人が集まり、会話が集うライフスタイルホテル」を目指し、まるで"住まい"のように快適な客室を起点に、都市とゲストをつなぐ時間と体験を大切にしたいと考え、ゲストと日本文化、ゲストと地域社会など様々な交流の機会を創出しています。客室は機能的でくつろぎを重視した設えに、洗濯乾燥機やミニキッチンなど、長期滞在でも快適に過ごせる設備を備えます。

【東急ステイ公式サイト】<https://www.tokyustay.co.jp/>

【東急ステイ施設数】全国 33 施設（2026 年 5 月広島オープン予定）

【姉妹ブランド】 nol kyoto sanjo（京都市中京区）、nol hakone myojindai（神奈川県箱根町）

■株式会社 Kaizen Platform について

株式会社 Kaizen Platform は、生成 AI などの先端技術を企業の業務プロセスや顧客接点に統合し、事業成果の創出を支援する AI インテグレーターです。UX 設計から DX 推進まで、AI を活用したクラウド基盤とプロフェッショナルサービスを組み合わせ、企業の顧客体験改善と業務効率化を実現しています。1,400 社を超える支援実績を持ち、東京証券取引所グロース市場上場。

会社名：株式会社 Kaizen Platform

代表者：代表取締役 須藤憲司

所在地：東京都港区白金 1-27-6 白金高輪ステーションビル 10F

URL：<https://kaizenplatform.co.jp/>

■株式会社 POCKET RD について

POCKET RD は、「ニッポン発。今、ここにはない未来を創る」をビジョンに掲げ、3D・Web3 技術を活用したソリューションを展開するテクノロジー企業です。Web3 BaaS「Digital Double」を通じて、NFT 発行機能やウォレット管理、マーケットプレイス機能など、企業の Web3 サービス構築を支援するインフラサービスを提供しています。KDDI や阪急阪神ホールディングスなど大手企業との協業実績を持ち、Web3 技術の社会実装を推進しています。

会社名：株式会社 POCKET RD

代表者：代表取締役 靱倉宏哉

所在地：東京都港区赤坂 4-8-18 赤坂 JEBL 9 階

URL：<https://pocket-rd.com/>